ふるさとの自然 29

夕空をひらひらと飛ぶアブラコウモリ

○家に住むコウモリ

皆さんはコウモリを見たことがありますか？　市内でも夕暮れの薄暗い空をひらひらと飛ぶコウモリを見ることがあります。それがアブラコウモリです。

アブラコウモリは大きさ10㎝ほどの小さなコウモリで、町中に住んでいます。昼間は家の隙間で休み、暗くなると餌を探して飛び回る夜行性の動物です。写真は中央小の校舎に住んでいたアブラコウモリです。

○超音波で餌探し

空を飛ぶコウモリですが、私たち人間と同じれっきとした哺乳類です。前足の指の間に膜ができて、空を飛べるように進化しました。初夏のころ２～３頭の子どもを産み、乳で育てます。

コウモリは飛びながら蚊などの小さな虫を捕まえて食べます。人間には聞こえない超音波を出し、跳ね返ってきた音を聞いて餌や障害物の位置を知ることができる、自前のレーダーを持つ生き物です。冬は餌の虫が少ないため活動を止め、家の隙間などにぶら下がって春まで冬眠します。

（旭市文化財審議会委員　齊藤敏一）